

## 令和5年度 地域学校協働活動アンケート調査 小・中・特別支援学校

このアンケートは、学校と地域の協働体制を構築し、組織的かつ継続的な取り組みとするため、毎年度、効果検証を行い、翌年度以降の活動に反映させることを目的実施しました。調査結果は、今後の八代市地域学校協働本部の基礎資料として活用していきます。

※調査期間 令和6年1月17日～1月26日

回答数	39校
-----	-----

【問 1】 地域学校協働本部では、地域コーディネーター（地域学校協働活動推進員）をすべての学校に配置し3年目となりました。配置をしてよかったですか？

項目	回答数	割合
そう思う	36	92.3%
ややそう思う	3	7.7%
あまり思わない	0	0.0%
全く思わない	0	0.0%
合計	39	100.0%

前年度と変わらず、すべての学校が、地域コーディネーターを配置してよかったと感じていることがわかりました。

【問 2】 教職員は地域コーディネーターを活用していると思いますか？

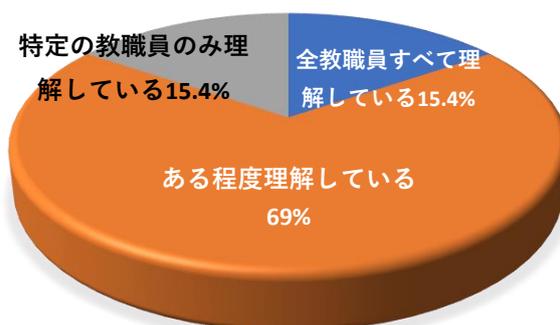
項目	回答数	割合
よく活用している	11	28.2%
活用している	23	59.0%
あまり活用していない	5	12.8%
全く活用していない	0	0.0%
合計	39	100.0%

コロナ禍から脱却したこともあり、「あまり活用していない」の学校が1減となり、「よく活用している」の学校2増となった。

【問 3】 地域学校協働活動の概要や取り組みについて、教職員は理解していますか？

項目	回答数	割合
全教職員すべて理解している	6	15.4%
ある程度理解している	27	69.2%
特定の教職員のみ理解している	6	15.4%
あまり理解していない	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	39	100.0%

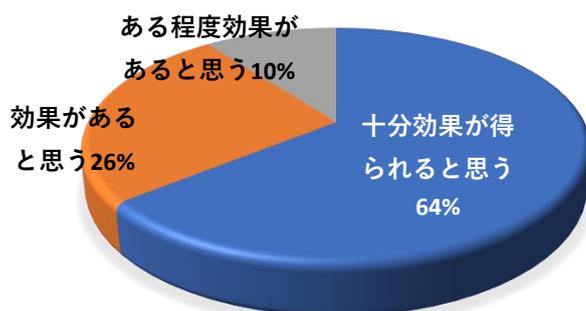
殆どの学校において、地域学校協働活動の概要や取り組みを理解して実施しているということがわかりました。



【問 4】 地域学校協働活動は、学校教育目標の達成や教育課題の解決につながるとお思いますか？

項目	回答数	割合
十分効果が得られると思う	25	64.1%
効果があると思う	10	25.6%
ある程度効果があると思う	4	10.3%
効果は得られないと思う	0	0.0%
合計	39	100.0%

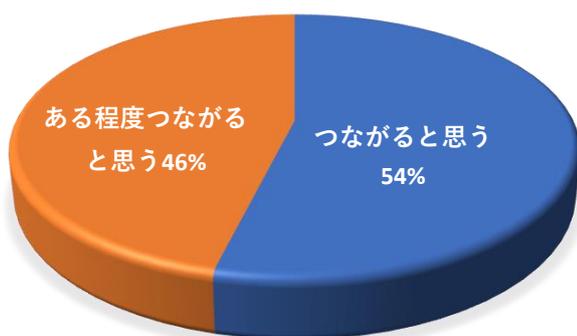
殆どの学校において、地域学校協働活動は、学校教育目標の達成や教育課題の解決につながり、効果が得られると思っているということがわかりました。



【問 5】 地域学校協働活動を推進していくことで、学校における働き方改革につながるとお考えですか？

項目	回答数	割合
つながると思う	21	53.8%
ある程度つながると思う	18	46.2%
あまり効果は得られないと思う	0	0.0%
合計	39	100.0%

昨年度は「あまり効果は得られないと思う」の回答が3校あったため、活動に対する理解をいただいていることがわかりました。



【問 6】 貴校のコミュニティスクール(学校運営協議会)では、地域学校協働活動について議論を行っていますか？

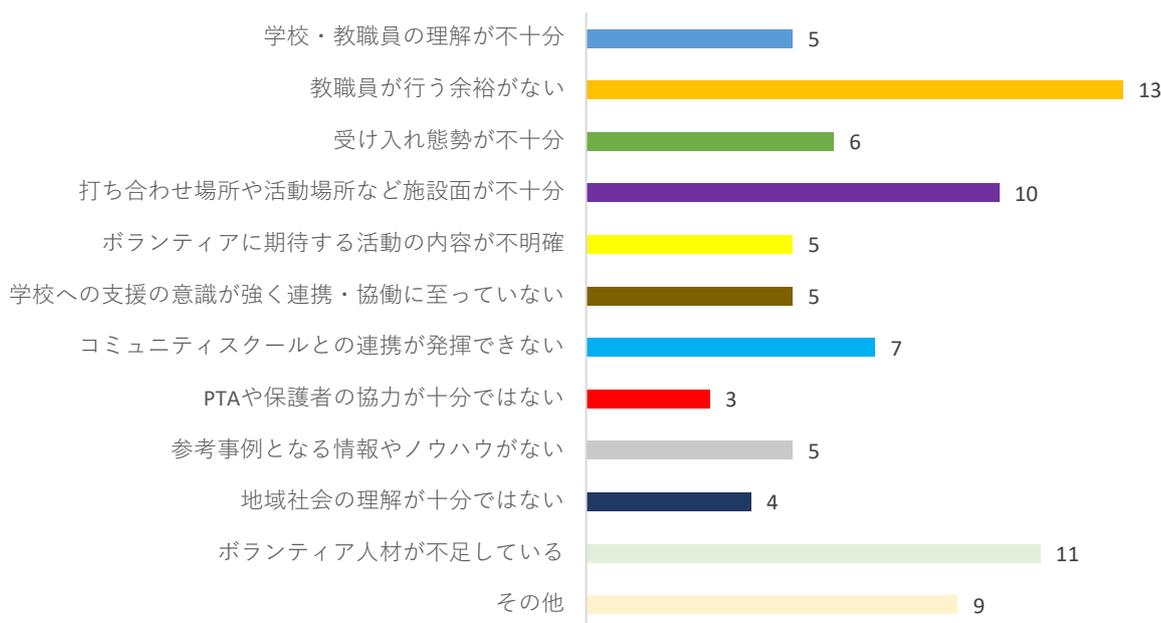
項目	回答数	割合
よく議論をしている	15	38.5%
議論をしたことがある	22	56.4%
あまり議論にならない	2	5.1%
その他	0	0.0%
合計	39	100.0%

昨年度は「あまり議論にならない」が6校、「議論ができていない」が1校の回答があったが、コミュニティスクールの中で地域学校協働活動についての議論が前進していることがわかりました。引続き地域学校協働活動について議論を深めてもらえるよう働きかけを行って参ります。

【問 7】 地域学校協働活動を実施する上で、捉えている課題は何ですか？  
（複数回答可）

項目	回答数	割合
学校・教職員の理解が不十分	5	6.0%
教職員が行う余裕がない	13	15.7%
受け入れ態勢が不十分	6	7.2%
打ち合わせ場所や活動場所など施設面が不十分	10	12.0%
ボランティアに期待する活動の内容が不明確	5	6.0%
学校への支援の意識が強く連携・協働に至っていない	5	6.0%
コミュニティスクールとの連携が発揮できない	7	8.4%
PTAや保護者の協力が十分ではない	3	3.6%
参考事例となる情報やノウハウがない	5	6.0%
地域社会の理解が十分ではない	4	4.8%
ボランティア人材が不足している	11	13.3%
その他	9	10.8%
合計	83	100.0%

その他
学校が求める人材の確保が難しい場合がある
学校職員やコーディネーターが、変わっても継続可能かどうか？
現状の支援及びこれまでの取組でなんとかなっていることが多く、新たに組織を作って動くことがあまりない
自校に上記の選択肢にあてはまる課題は明確には見受けられないが、鋭意充実を図っていかなければならないと認識している
十分な打ち合わせの時間の確保
地域コーディネーターさんには、子供たちのため、学校のために大変よくしてもらっています。活動の実施については、大きな課題はありません。
地域コーディネーターの人選が困難である。
報償費（謝金）が安く、申し訳ないと感じることがある。
来てくださる地域の方々に出すお茶代がない（消耗品代として認めてほしい）

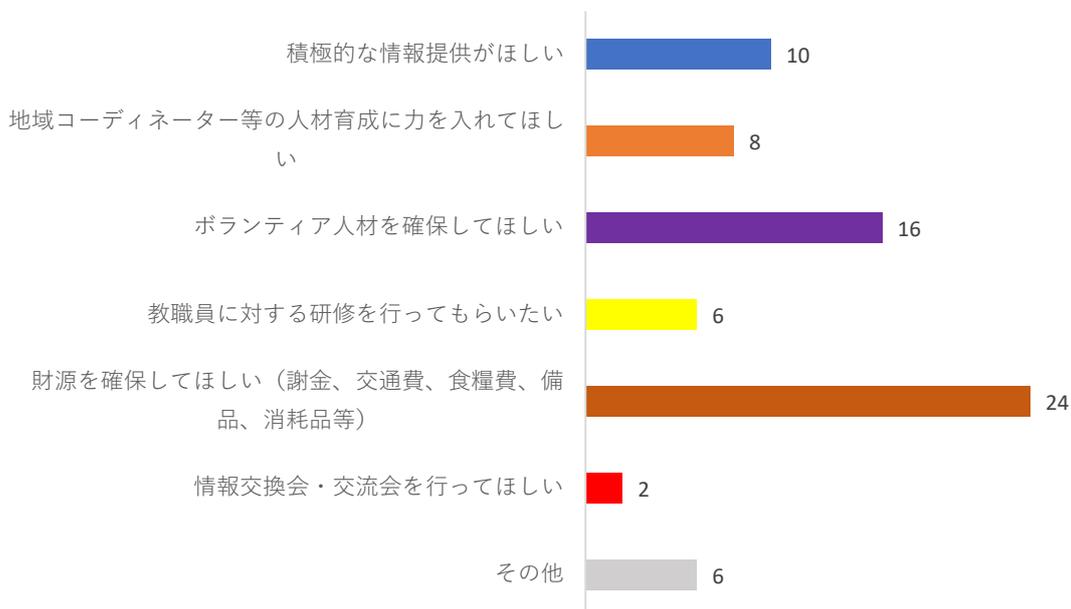


地域学校協働活動を実施する上での課題としては、「教職員が行う余裕がない」が一番多く、次いで、「ボランティア人材が不足している」や「打ち合わせ場所や活動場所などの施設面が不十分」などが昨年度と同様の結果となりました。

**【問 8】 八代市地域学校協働本部の支援策についてお聞かせください  
(複数回答可)**

項目	回答数	割合
積極的な情報提供がほしい	10	13.9%
地域コーディネーター等の人材育成に力を入れてほしい	8	11.1%
ボランティア人材を確保してほしい	16	22.2%
教職員に対する研修を行ってほしい	6	8.3%
財源を確保してほしい(謝金、交通費、食糧費、備品、消耗品等)	24	33.3%
情報交換会・交流会を行ってほしい	2	2.8%
その他	6	8.3%
合計	72	100.0%

その他
コロナ禍のため、活動ができなかった状況が続いたため、活動の広がりがまだまだ不十分なことありますが、今後とも予算を削らないようにしていただければ、活動を充実させていきたいと考えますので、どうぞよろしくお願いいたします。
研修や情報提供はこれまでもしていただいていた、とてもありがたいと思っています。今年度までの実践等によりある程度年間の計画が確立し、スムーズに運営・実践ができるようになってきている。今後も研修や情報提供をいただきながら活動の充実を図っていきたく思っている。
十分支援していただいていると思います。
地域コーディネーターさんを今以上に支援していただければ、学校としてもありがたいです。
地域のボランティア人材の一覧があるとありがたいです。
本校では、現在、地域学校協働活動が活発に行われているが、この活動が継続させていくための取り組みが必要である。



八代市地域学校協働本部の支援策は、「積極的な情報提供がほしい」が大きく減少し、実際に活動に要する「財源を確保してほしい」、「ボランティア人材を確保してほしい」という要望が多いことがわかりました。

【問 9】 その他、地域学校協働活動についてご意見がございましたら自由に記載ください。

コロナ禍で地域との連携が疎遠になった事で、地域との連携に対する職員の意識を高めていく必要がある。校内の体制を整えていく必要があると同時に、他校での取組などを知る研修会（多くの職員を対象とした）があればと思う。

サポーターやボランティアとして来られた方に、お茶（ペットボトル）等を購入して渡したい。

どこの学校でも事務職員と担当職員の負担は多い。

とても有意義な事業だと思います。

各校の年間計画データを公開し、活用できるような機会がほしい。

謝礼が確保されているのでありがたい。

多くの教育活動で支援をいただいています。プールでの学習やミシン活用時などの支援の際は、安全管理の面からも非常に役に立っており、事故防止につながっている。

本校は児童数も多く、コーディネーターを複数人配置して頂けたらありがたいです。また活動を進めると当初の計画より活動量の増減もあり、臨機応変な経費の使用を認めてもらいたい。

地域コーディネーターさんのおかげで、充実した学習サポート、環境サポートをいただいています。学校としては感謝の言葉しかありません。

本校での地域学校協働活動は、今年度になりコロナ禍での制限も少なくなったことから、昨年度より充実した活動を行うことができた。年間計画をもとに見直しをもって活動に取り組むことができるようになり、次年度以降は活動内容を見直しながら、年間計画の修正や活動の充実を図っていくことができたと思う。

本校は学校運営協議会と地域学校協働活動の一体化推進を図るために、児童生徒の参画を行っている。しかし、最大の課題は教職員の理解や意識の差である。効果的と分かってもなかなか活用できない現状もある。また、予算や施設等を含むハード面も課題であると考え。具体的に、予算等は仕方ないかもしれないが計画や報告も含めて手続きが大変で、担任では対応できないところもある。事務的なことも簡素化できるとありがたい。

本校では、地域コーディネーターの定期来校日の設定やそれに伴う各職員との連携を図る取組を進めてきました。その甲斐あって、職員と地域とのつながりが少しずつ深くなってきています。今後は、学校から地域に返せる取組を協働して進めていくことを検討していきたいと思えます。